

瓦類ワーキング部会の検討状況

令和 7 年 9 月



1. 令和7年度の瓦類WG部会の検討スケジュール

- 令和7年度、瓦類WG部会における主な検討内容は、下記の通りである。

会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
瓦類工程	赤瓦				赤瓦(両廊下) 本製造 									
	磚	焼成試験(赤瓦ベース) 製造に向けた検討(材料・品質試験、工程等) 					磚(正殿基壇・両廊下一部) 本製造 							
瓦類WG部会				⑨ 6/9			■■■■■■■■ ⑩必要に応じ開催予定							2回程度
瓦類WG部会 に係る 調査・監修等									●磚の外観監修					

開催日	会議名等	主な検討内容
6/9	第9回WG部会	- 赤瓦搬入状況、両廊下赤瓦の製造予定 - 磚の製造の方向性など
未定	第10回WG部会	磚の製造の方向性など

・瓦類の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	製作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
1	赤瓦（正殿本体）	令和6年8月頃	軒丸瓦瓦当文様の変更 （軒平瓦瓦当文様の調整）※	国へ引渡し済
2	雲形飾瓦（正殿本体）	令和6年12月頃	高精細古写真及び沖縄県立埋蔵文化財センター 保管遺物をもとに造形を決定	国へ引渡し済
3	磚（正殿基壇、両廊下（一部））	令和8年3月頃	なし（前回踏襲）	原土準備中
4	赤瓦（両廊下）	令和8年2月頃	軒丸瓦瓦当文様の変更 （軒平瓦瓦当文様の調整）※	原土準備中

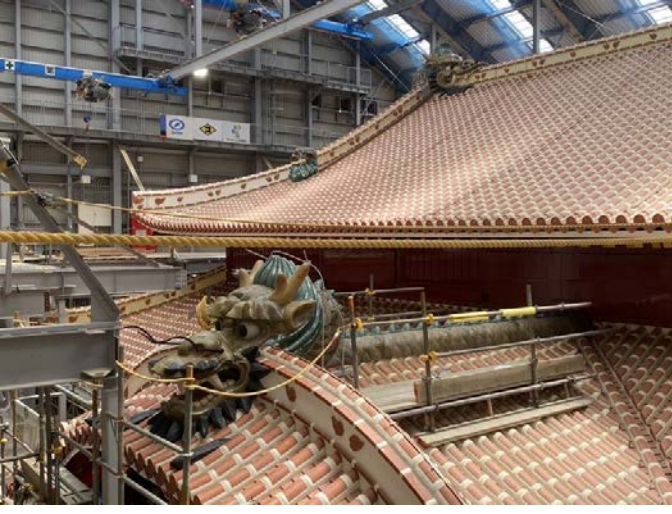
※軒丸瓦および軒平瓦は沖縄県立埋蔵文化財センター保管遺物から具体的な瓦当文様を選定



上層施工状況(2025. 6. 24撮影)



雲形飾瓦施工状況(2025. 6. 24撮影)



施工状況(2025. 7. 8撮影)

今後の予定	R7. 1-3	4-6	7-9	10-12	R8. 1-	備考
磚	焼成試験(赤瓦ベース)		原土準備	本製造	➡➡➡➡➡	成形後の乾燥要約2か月
赤瓦(両廊下)			原土準備	本製造	➡➡➡	成形後の乾燥要約1か月

3. 磚の原土選定および製造方針の検討状況

瓦類WG部会で以下の方向性を確認し、検討及び製造準備を進めている。

- 試験磚の比較評価等を踏まえ、今回製造する磚は復元中の正殿の赤瓦と同じ原土配合割合、焼成温度とする。
- 赤瓦と同様の色味や質感、既存磚との違和感のない色味とするため、酸化鉄を配合する。
- 金型については、平成の復元以降に県内での製造実績がある既存金型を使用する。
- 磚の製造方針の概要は下表のとおりとし、具体的な検討を進めつつ、製造段階における監修を行い、製造を進める予定。
- 製作体制は、赤瓦ベース原土での磚の製造実績等を踏まえ、県内赤瓦事業者を想定。

項目	製造条件	品質確認方法
原土配合	- クチャ70%（うち石嶺クチャ3割）、赤土30% - 石嶺クチャは水簾（マグネットフィルター含む）と粉碎作業により、鉄粉等の異物を除去 - 色味の調整のための酸化鉄の配合は、2%を基本とする。	-
焼成設定温度	1,030度	-
寸法	242mm（8寸）角、厚さ30mmとし、寸法・形状の許容差を定める。	寸法検査
曲げ破壊荷重	1080N以上	曲げ破壊荷重試験
耐滑り性	C.S.R 0.4以上	耐滑り性試験
外観	重欠点（貫入・切れ・層剥離など）はタイルを手にとって観察したとき、認められないこと、軽欠点（欠け・小穴・凸凹・きずなど）について、タイルを並べ、約1m離れて観察したとき、目立たないこととする。	外観検査